

新春挨拶

新年のごあいさつ



衆議院議員
渡辺具能

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、穏やかに2008年の新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は皆様に大変お世話になり、私も8月まで国土交通副大臣という重責を務めさせて頂く事が出来ました。改めて御礼と感謝申し上げます。

さて、昨年の政界もあつという間の一年でありました。年金記録未処理問題や相次ぐ閣僚の不祥事等、様々な要因によって夏の参議院選挙で与党が大敗、その後の安倍総理の突然の辞意表明による自民党総裁選挙によって、「自立と共生の社会」・「希望と安心のくにづくり」を掲げた福田新総理が誕生しました。その福田総理は、自民党のピンチを救うべく今までの改革によって生じた陰の部分、いわゆるさまざまな格差問題についての対策をしっかりとっていくことを表明し、対応する諸施策の実現のため努力しております。私も新たに自民党政務調査会の文部科学部会長を拝命し、社会の根幹である教育政策の取りまとめに努力しているところであります。

国政はご存知の通り、衆・参の『ねじれ』によって政策の実現が与党だけでは大変難しい状況が続いています。しかしながら国土交通行政に関しましては、社会資本整備や道路特定財源の暫定税率そして原油の高騰問題等々、もっともっと落ち着いて本質的な議論をしなければならないと思いますし、建設関連産業の健全な振興のため、品質確保法等のさらなる見直しをしっかりと行わなければなりません。

また、都市と地方の格差に関しましては様々な分

野での問題が取り上げられていますが、その改善に『港』が大きな役割を果たすことが出来ると思っています。昨今の中国を中心とした世界経済の成長に合わせ、わが国の輸出関連企業は一時の工場海外進出から、最新工場の新・増設の国内回帰が進んでおり、好調な民間企業の設備投資意欲も旺盛であります。その中であって全国の港を中心とする臨海部では、新たな企業立地が内陸部以上に急激に進みつつあり、結果その周辺地域へ関連する新規民間投資が促進されるとともに、多くの雇用が創出され、財政状況に苦しむ地方自治体にとっても新たな税収源が確保される等『みなとを核とした地域の活性化』が顕著に現れております。このプラスの循環を今後も継続させて行くことが大事であり、わが国の民間企業が世界との競争の中で成長を維持し、国内での設備投資を積極的に進めることが出来るよう、引き続きわが国の重要な社会インフラである港湾の積極的な整備やアクセスの向上、そして企業の国際競争力に直結する港湾関連手続きの簡素化・効率化等の推進が急務であります。

新しい年の始まりと共に通常国会が召集されますが、それらの実現のために必要な諸政策の立案と関連予算の十分な確保を目指し、本年が真の成長を実感できる本格的景気回復元年となり、わが国そして皆様にとって本当によい年となりますよう、関係の皆様と力を合わせ努力して参りますので、今後とも変わらぬご指導ご鞭撻の程宜しくお願い致します。